

アトルバスタチン錠5mg「サワイ」

● 血中濃度比較試験
 【標準製剤との比較】
 【未変化体】

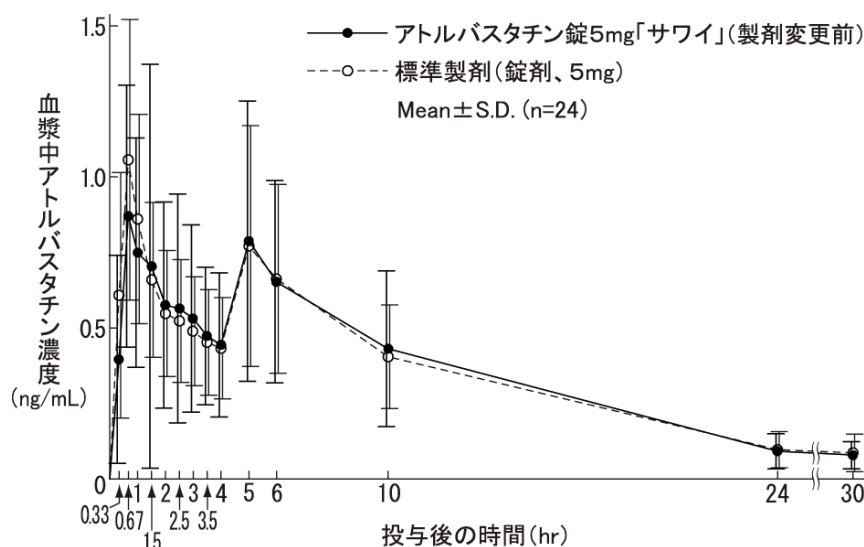
通知等	「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」： 平成18年11月24日 薬食審査発第1124004号
採血時点	0、0.33、0.67、1、1.5、2、2.5、3、3.5、4、5、6、10、24、30hr
休薬期間	7日間
測定方法	LC/MS法
試験製剤	アトルバスタチン錠5mg「サワイ」(製剤変更前)
標準製剤	リピトール錠5mg

アトルバスタチン錠5mg「サワイ」(製剤変更前)と標準製剤を健康成人男子にそれぞれ1錠(アトルバスタチンとして5mg)空腹時単回経口投与(クロスオーバー法)し、血漿中アトルバスタチン濃度を測定した。得られた薬物動態パラメータ(AUC、Cmax)について90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、 $\log(0.80) \sim \log(1.25)$ の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。

各製剤1錠投与時の薬物動態パラメータ

	Cmax (ng/mL)	Tmax (hr)	T _{1/2} (hr)	AUC _t (ng・hr/mL)
アトルバスタチン錠5mg「サワイ」(製剤変更前)	1.25 ± 0.60	2.0 ± 2.0	8.2 ± 2.2	9.94 ± 4.98
標準製剤(錠剤、5mg)	1.21 ± 0.38	1.2 ± 1.3	8.3 ± 2.6	9.86 ± 3.82

(Mean ± S.D.)



	対数値の平均値の差	対数値の平均値の差の90%信頼区間
AUC _t	$\log(0.99)$	$\log(0.92) \sim \log(1.06)$
Cmax	$\log(1.00)$	$\log(0.89) \sim \log(1.12)$

血漿中濃度ならびにAUC、Cmax等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

アトルバスタチン錠5mg「サワイ」

【代謝物(M-2体)】

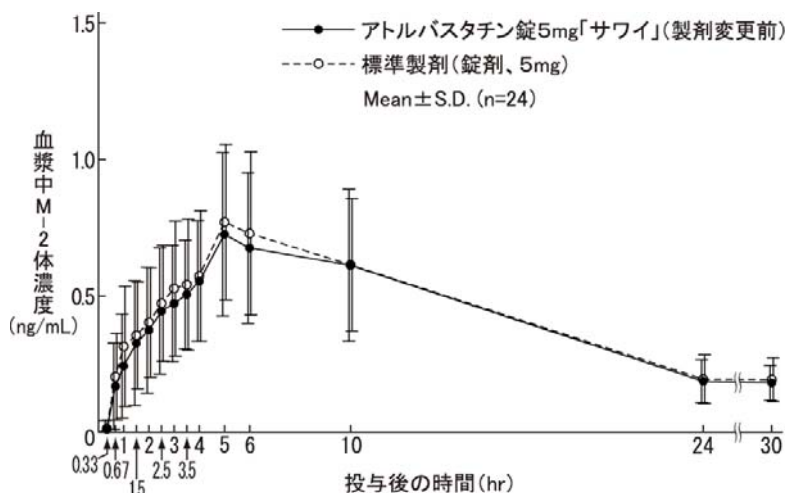
通知等 (参考)	「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」： 平成18年11月24日 薬食審査発第1124004号
採血時点	0、0.33、0.67、1、1.5、2、2.5、3、3.5、4、5、6、10、24、30hr
休薬期間	7日間
測定方法	LC/MS法
試験製剤	アトルバスタチン錠5mg「サワイ」(製剤変更前)
標準製剤	リピトール錠5mg

アトルバスタチン錠5mg「サワイ」(製剤変更前)と標準製剤を健康成人男子にそれぞれ1錠(アトルバスタチンとして5mg)空腹時単回経口投与(クロスオーバー法)し、血漿中アトルバスタチン代謝物(M-2体)濃度を測定した。得られた薬物動態パラメータ(AUC、Cmax)について、生物学的同等性試験ガイドラインに準じ、90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、 $\log(0.80) \sim \log(1.25)$ の範囲内であることが確認された。

各製剤1錠投与時の薬物動態パラメータ

	Cmax (ng/mL)	Tmax (hr)	T _{1/2} (hr)	AUC _t (ng・hr/mL)
アトルバスタチン錠5mg「サワイ」(製剤変更前)	0.77 ± 0.31	5.3 ± 1.7	11.8 ± 3.8	11.98 ± 4.58
標準製剤(錠剤、5mg)	0.81 ± 0.31	6.1 ± 2.3	12.0 ± 4.3	12.44 ± 4.65

(Mean ± S.D.)



	対数値の平均値の差	対数値の平均値の差の90%信頼区間
AUC _t	$\log(0.96)$	$\log(0.89) \sim \log(1.04)$
Cmax	$\log(0.94)$	$\log(0.86) \sim \log(1.03)$

血漿中濃度ならびにAUC、Cmax等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

アトルバスタチン錠5mg「サワイ」

【製剤変更前後の比較】

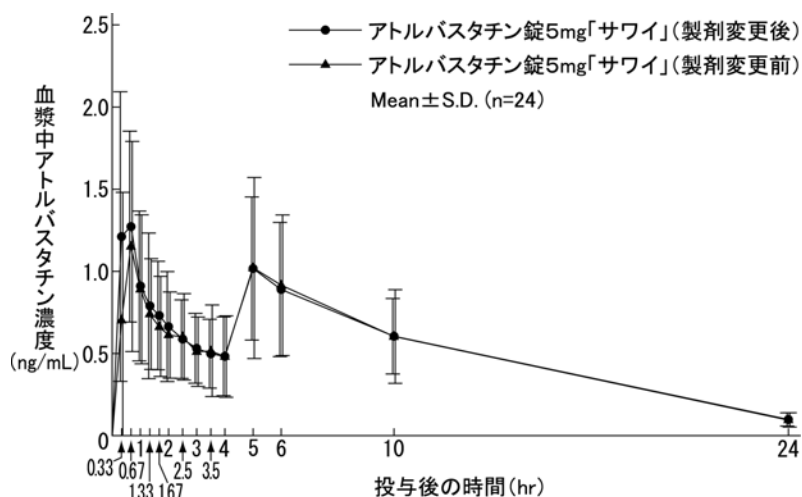
通知等	「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」： 平成24年2月29日 薬食審査発0229第10号 「経口固形製剤の処方変更の生物学的同等性試験ガイドラインについて」： 平成24年2月29日 薬食審査発0229第10号
採血時点	0、0.33、0.67、1、1.33、1.67、2、2.5、3、3.5、4、5、6、10、24hr
休薬期間	7日間
測定方法	LC/MS法
試験製剤	アトルバスタチン錠5mg「サワイ」(製剤変更後)
標準製剤	アトルバスタチン錠5mg「サワイ」(製剤変更前)

アトルバスタチン錠5mg「サワイ」(製剤変更後)とアトルバスタチン錠5mg「サワイ」(製剤変更前)を健康成人男子にそれぞれ1錠(アトルバスタチンとして5mg)空腹時単回経口投与(クロスオーバー法)し、血漿中アトルバスタチン濃度を測定した。得られた薬物動態パラメータ(AUC、Cmax)について90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、 $\log(0.80) \sim \log(1.25)$ の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。

各製剤1錠投与時の薬物動態パラメータ

	Cmax (ng/mL)	Tmax (hr)	T _{1/2} (hr)	AUC _t (ng・hr/mL)
アトルバスタチン錠5mg「サワイ」(製剤変更後)	1.66 ± 0.67	1.6 ± 2.0	6.0 ± 1.1	12.47 ± 4.79
アトルバスタチン錠5mg「サワイ」(製剤変更前)	1.54 ± 0.67	2.2 ± 2.5	5.6 ± 0.9	12.24 ± 4.74

(Mean ± S.D.)



	対数値の平均値の差	対数値の平均値の差の90%信頼区間
AUC _t	$\log(1.02)$	$\log(0.97) \sim \log(1.08)$
Cmax	$\log(1.08)$	$\log(0.97) \sim \log(1.20)$

血漿中濃度ならびにAUC、Cmax等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。